

1年生に聞きました ～短期大学の学びとは～



地域教養学科 1年
久保 玲捺さん (大樹高等学校卒)

私が帯広大谷短期大学地域教養学科に入学して感じたことは、高校の時と比べて講義が学生主体で動くものが多く、自分の考えをしっかりと持つことが必要だと感じました。高校では、教科書を開いて授業を聞き、それを理解する授業ばかりでした。しかし地域教養学科では、学生自らが意見を出し合い、考えを共有してそこから新しい考えが生まれる機会が多く、高校の時より意見を聞いたり、自分の考えをしっかりと持って動くことが、楽しく学びにつながっていると感じることができました。

また、高校では評価の対象が試験や日頃の出席状況で判断されることが多かったのに対し、帯広大谷短期大学では試験はもちろん、レポート形式での提出、出席は1/3以上でなければ単位がもらえないなどのルール、決まり事があり、慣れていない最初のうちは少し大変でした。

卒業までまだ時間はありますが、取りたい資格をしっかりと取得して、最終的にここに進学してよかったと思える生活を送っていきたいです。



社会福祉科 子ども福祉専攻 1年
六楽内 美空さん (帯広大谷高等学校卒)

短大に入学して約4か月が経ちました。この4か月という短い期間でたくさんのことを学びました。社会福祉科子ども福祉専攻では保育のことだけではなく、社会福祉なども学びます。勉強しているうちにどんどん興味が湧いてきてもっとたくさん学びたい！！という気持ちが高まりました。座学だけではなく、調理実習や体育、ピアノなどもあり、いろいろな経験をすることができ楽しく授業に参加しています。

ゼミでは、10名ほどで各グループに分かれ実際に施設訪問や調べ学習をしています。今はコロナ禍で施設訪問などはやっていませんが、ズームで施設の方にお話を聞いたりしています。直接お話を聞けるのでとてもいい経験になります。

冬からは実習が始まります。今まで学んできたことを活かして実習に取り組み、頑張りたいと思います。あとは実際に子ども達と触れ合うことができるので、楽しみでもあり、たくさん学んでいきたいと思っています。



生活科学科 栄養士課程 1年
眞鍋 彩さん (帯広農業高等学校卒)

私は帯広大谷短期大学に入学し、栄養士課程で日々勉学に励んでいます。入学して間もない頃に緊急事態宣言の発令により、約1か月間、学校に登校することができませんでした。慣れないオンライン授業は不安でいっぱいでしたが、先生方がサポートをしてくださり多くのことを学びました。

特に私は調理学実習で学んだことが多く、前期は和食料理を作成し、調理の基礎だけではなく、食文化を学ぶことができました。また、十勝の食材を100%活用し献立を自分たちで考え、調理をする「とかちと食1」の実習では、栄養士を目指している私にとって大きな強みとなりました。

栄養士課程で学んでいることは日常生活でもとても役に立ちます。自炊を行う上で栄養のバランスを考え、美味しく出来上がった時は、とても嬉しい気持ちになりました。これからも講義や実習で学ぶことをしっかりと吸収し、たくさんの方々の健康をサポートできる栄養士を目指していきたいです。



社会福祉科 介護福祉専攻 1年
齊藤 広晟さん (音更高等学校卒)

私は介護福祉士を目指し、短大に入学しました。今、目標達成のために勉強に励んでいます。高校の時の授業とは違い覚えることが多く大変ですが、学んでいくうちに新たな知識が深まり、とても充実しています。その中でも特に「介護技術」という科目にやりがいを感じています。授業では実技を通して利用者、介護者双方にとっての安全・安楽な介護について学びます。実際に介護者役、利用者役の体験から気づきや学びをグループで共有するなど、友人と協力しながら学ぶことはとても楽しく充実しています。入学当初、友達ができるか不安でしたが、すぐに打ち解けることができました。食堂で一緒にお昼ご飯を食べたり、課題に取り組んだり、友人のおかげで楽しい毎日を送っています。どの科目もテストは難しいですが、2年後は同じ目標を持つ友人たちと一緒に国家試験に合格できるよう、また、将来立派な介護福祉士になれるように日々努力していきたいです。

就職率100%達成！

帯広大谷短期大学のキャリア支援

帯広大谷短期大学キャリア支援課では求人票の収集・公開、メール配信による情報提供を行っています。また、企業の会社概要や事業内容についての説明や情報提供も行っています。その他、就職ガイダンスの実施、履歴書添削、個別の面接練習を行うなどの支援を行います。2020年度は全学で就職率100%を達成しました。



2020年
公務員合格者
20名！

